

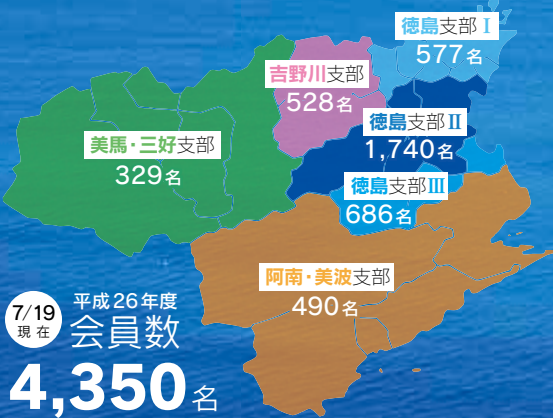
2014.8.1

協会ニュース

No.
79



(スマートフォン対応)



■ CONTENTS

会長挨拶	2
表彰	2
平成26年度 徳島県看護協会通常総会 開催	3
平成26年度 役員	3
平成26年度 日本看護協会通常総会	5
平成26年度 全国職能交流集会 報告	5
輝く戦士!!ナースマン	6
2014年看護の日・看護週間行事報告	8
ナースセンターだより	9
ワンポイントアドバイス No.23	9
各お知らせ	10
編集後記	10

会長挨拶



会長 森山 節子

平成26年度徳島県看護協会通常総会は、会員の皆様のご協力によりまして、今年度事業方針や役員改選等も決定し、盛会に終えることができました。

徳島県看護協会は公益社団法人として3年目となります。昨年は2年経過したということで、行政庁の立ち入り検査がありました。実状にあった、規程の修正等はありませんでしたが、問題なく運営されているという結果でした。公益法人としての組織、運営等名実ともに軌道に乗ってきていると思っています。

今年度の重点事業として、「①在宅や施設における療養者を支える看護機能の強化と看護職への支援、②社会の期待に応える地域活動、③専門性を高める生涯教育の推進、④健康で安全に働き続けられる職場環境づくり、⑤本会の目的を達成するための基盤整備」を掲げ、看護の質向上や地域の人々に信頼される取り組みを丁寧に進めていきたいと思っています。

この度、6月18日、医療介護総合確保推進法が参議院本会議で可決、成立いたしました。「医療・介護サービスの提供体制の改革」のための新たな財政支援制度が創設され、各都道府県に消費税増収分を財源とした基金を設置、各都道府県が作成した計画に基づき事業を実施する方向になります。①病床の機能分化・連携、②在宅医療・介護

の推進、③医療・介護従事者の確保・養成、勤務環境改善、地域ケアシステムの構築等が取り組んでいかなければならない事業になります。また、この法律には、特定行為に係る研修やナースセンターへの届け出制度なども含まれております。

今までのように国から指定された事業ばかりではなく、地域の実状にあった事業を県が計画立案し実行していくことになっています。

このため、これからは、看護協会としての役割や使命をもって取り組まなければならないことについては、しっかり将来を見据えた看護政策を県に提案していかなければなりません。看護協会もすでに県との話し合いの場を持っていたが、在宅医療推進に関すること、訪問看護師確保や教育研修に関すること等提案し、一歩踏み出しております。

経験したことのない超高齢社会、看護職に対する期待は増すばかりです。多くの期待に応えるべく、また、この変革に対応できるように、責任重大ですが、会員の皆様とともに頑張りたいと思っています。

会員の皆様の力が看護協会の力となります。一人でも多くの看護職の方々と一緒に看護の発展のために力を尽くしたいと願っております。非会員の皆様の入会をお待ちしております。

平成26年6月

平成26年

おめでとうございます

名誉会員に推薦されて



日本看護協会名誉会員

中井 敏子 様

さる6月11日愛知県で開催されました平成26年度日本看護協会通常総会において名誉会員証ならびに記念品を拝受してまいりました。

これもひとえに徳島県看護協会会長様のご推挙や関係者皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。今後はこの栄誉を糧に協会発展に微力ながら貢献しなければとの思いを強くいたしております。ありがとうございました。

中井 敏子

春の叙勲および表彰



瑞宝単光章

林 良子 様



瑞宝双光章

渡川 明子 様



平成26年度

日本看護協会会長表彰

古川 明美 様



平成26年度

徳島県表彰

福井 勝子 様



平成26年度

〈重点事業〉

- 1 在宅や施設における療養者を支える看護機能の強化と看護職への支援
- 2 社会の期待に応える地域活動
- 3 専門性を高める生涯教育の推進
- 4 健康で安全に働き続けられる職場環境づくり
- 5 本会の目的を達成するための基盤整備

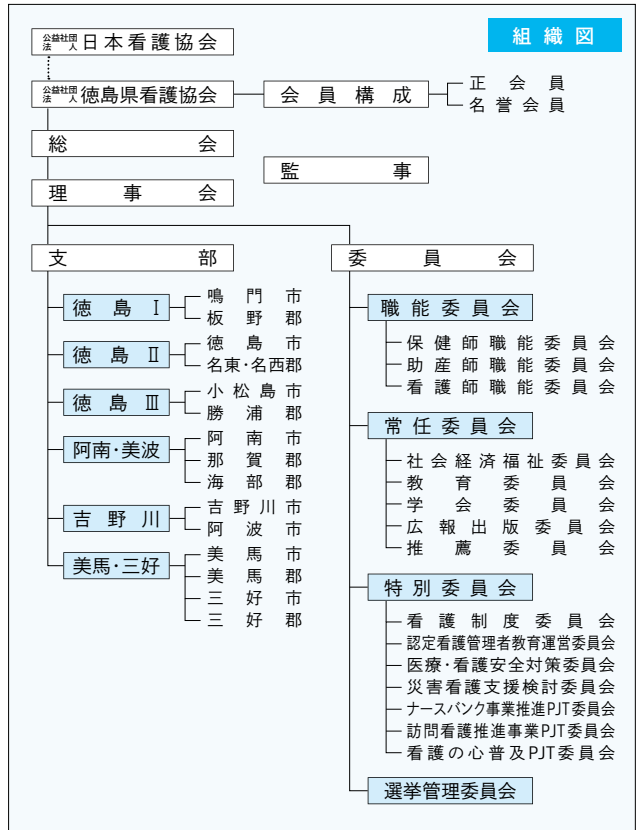
〈議案〉

- 第一号議案 平成25年度決算報告(案)及び監査報告
 第二号議案 平成26年度役員及び推薦委員の改選並びに平成27年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について

平成27年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者の選出について

職 種	代議員候補	予備代議員1	予備代議員2
保健師	中瀬 明代	中川真由美	緒方 静子
助産師	岡島真理子	坂東 恵子	長尾 朋美
看護師	森 恭子	祖父江定子	吉永 純子
看護師	石田ゆうき	渡川 明子	木田 菊恵
准看護師	吉川 満枝	岩田 博子	



平成26年度

役員

役 職 名	氏 名	担当委員会名	勤 務 先
理事 会長	看 森 山 節 子		公益社団法人 徳島県看護協会
〃 第一副会長	看 吉 永 純 子	職能活動総括・看護制度委員会	徳島文理大学 保健福祉学部看護学科
〃 第二副会長	保 木 田 菊 恵	支部活動総括・学会担当	徳島大学 病院
〃 専務理事	保 緒 方 静 子	認定看護管理者教育運営委員会・災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会	公益社団法人 徳島県看護協会
〃 常任理事	看 渡 川 明 子	医療・看護安全対策委員会・訪問看護推進プロジェクトチーム委員会	公益社団法人 徳島県看護協会
〃 理事	保 中 瀬 明 代	保健師職能委員会	徳島県東部保健福祉局 (吉野川保健所)
〃	助 岡 島 真 理 子	助産師職能委員会	徳島県立中央病院
〃	看 森 恭 子	看護師職能委員会	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
〃	看 日 野 出 裕 美	徳島Ⅰ支部会	徳島県鳴門病院
〃	看 浅 田 洋 子	徳島Ⅱ支部会	徳島市民病院
〃	看 松 崎 和 代	徳島Ⅲ支部会	徳島赤十字病院
〃	看 栗 本 敬 子	阿南・美波支部会	JA阿南共栄病院
〃	看 矢 部 公 子	吉野川支部会	JA阿波病院
〃	看 井 口 和 美	美馬・三好支部会	徳島県立三好病院
〃	看 折 村 秀 美	広報出版委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	田 岡 病 院
〃	看 児 玉 真 由 美	教 育 委 員 会	徳島県立三好病院

役 職 名	氏 名	担当委員会名	勤 務 先
理事	看 真 鍋 明 子	社会経済福祉委員会	つるぎ町立半田病院
〃	准 吉 川 満 枝	看護制度委員会	阿南医師会中央病院
監事	外 竹 内 洋 一		さくら税理士法人
〃	看 篠 原 静		JA徳島厚生連

	支 部 名	支 部 長 名	勤 務 先
支 部 長	徳島支部Ⅰ	日 野 出 裕 美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	徳島支部Ⅱ	浅 田 洋 子	徳 島 市 民 病 院
	徳島支部Ⅲ	松 崎 和 代	徳 島 赤 十 字 病 院
	阿南・美波支部	栗 本 敬 子	阿 南 共 栄 病 院
	吉野川支部	矢 部 公 子	阿 波 病 院
	美馬・三好支部	井 口 和 美	徳 島 県 立 三 好 病 院

委員

	氏 名	職 能	勤 務 先
推薦委員会	工 藤 貴 久 子	保	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	山 西 初 江	看	徳 島 県 立 中 央 病 院
	三 木 真 澄	看	麻 植 協 同 病 院
	佐 原 浩 子	看	徳 島 市 民 病 院
	森 内 洋 美	助	徳 島 大 学 病 院
	・古 内 佐 和	看	徳 島 県 立 海 部 病 院
	・武 田 道 子	保	四 国 大 学 看 護 学 部
	・磯 田 美 和	看	徳 島 赤 十 字 病 院
	・園 藤 明 美	看	徳 島 県 鳴 門 病 院
	・近 藤 泉	助	徳 島 県 立 三 好 病 院

・印の方は平成26、27年度任期

	氏 名	勤 務 先
保健師職能委員会	・中 瀬 明 代	徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所)
	・山 崎 み ゆ き	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
	・堀 江 陽 子	徳 島 通 運 株 式 会 社
	・岡 久 玲 子	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
	・廣 瀬 寿 美	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
助産師職能委員会	・中川 真由美	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	・岡島 真理子	徳 島 県 立 中 央 病 院
	・川 越 友 美	徳 島 大 学 病 院
	・西 川 良 江	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	・坂 口 朋 枝	阿 南 共 栄 病 院
看護師職能委員会	・長 尾 朋 美	徳 島 赤 十 字 病 院
	・藤 田 美 樹	徳 島 県 鳴 門 病 院
	・森 恭 子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	・石 川 和 恵	徳 島 県 立 中 央 病 院
	・名 西 明 美	徳 島 県 立 三 好 病 院
	・佐 藤 美 樹	四 国 大 学 看 護 学 部
	・和田 美智子	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	・向 井 育 子	徳 島 市 民 病 院
	・津 田 祐 子	若 宮 の 里 小 規 模 多 機 能 ホ ー ム
	・金 山 泰 子	鴨 島 病 院
	・石 田 ゆ う き	た ま き 青 空 病 院
	・山 口 明 子	健 祥 会 モ ル ダ ウ

	職 能	氏 名	勤 務 先
広報出版委員会	機 関 紙 発 行	・多 田 美 由 貴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
	看	・高 田 泰 正	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・堀 田 明 代	阿 南 医 師 会 中 央 病 院
	助	・谷 崎 知 子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	・坂 本 富 江	徳 島 市 民 病 院
	看	・板 谷 雅 子	ホ ウ エ ツ 病 院
	看	・工 藤 美 恵	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	保	・佐 藤 加 代 子	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
	保	・黒 川 久 美	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
	助	・山 田 良 恵	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
社会経済福祉委員会	看	・浜 百 合	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	・長 村 哲 也	徳 島 県 立 中 央 病 院
	助	・迎 久 視 子	麻 植 協 同 病 院
	保	・石 坂 未 来	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)

	職 能	氏 名	勤 務 先
教育委員会	看	・佃 美 樹	徳 島 健 生 病 院
	保	・徳 永 あ い こ	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(阿南保健所)
	看	・渡 部 尚 美	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	保	・高 松 芳 子	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	看	・篠 原 貴 子	徳 島 県 立 中 央 病 院
	助	・奥 山 慶 子 (残任期間のみ)	徳 島 市 民 病 院
	看	・井 村 光 子	徳 島 大 学 病 院
	看	・早 淵 由 美	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・松 尾 恭 子	四 国 大 学 看 護 学 部
	看	・貞 野 ひ と み	阿 波 病 院
	看	・佐 藤 由 布 子	麻 植 協 同 病 院
	看	・松 本 光 世 (残任期間のみ)	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	助	・四 宮 洋 子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	・片 岡 三 佳	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
	看	・鹿 児 島 仁 美	藍 里 病 院
	看	・比 松 利 江	阿 南 医 師 会 中 央 病 院
	看	・谷 洋 江	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
学友委員会	助	・町 田 美 佳	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・千 田 幸 代	阿 南 共 栄 病 院
	看	・谷 口 啓 子	徳 島 大 学 病 院
	看	・常 陸 多 佳 子	独) 国立病院機構東徳島医療センター
	助	・鈴 記 洋 子	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
	保	・西 谷 範 子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好庁舎)

	職 能	氏 名	勤 務 先
認定看護管理者教育運営委員会	看	・大 岡 裕 子	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
	看	・木 田 菊 恵	徳 島 大 学 病 院
	看	・郡 利 江	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・庄 野 泰 乃	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・大 柳 薫	独) 国立病院機構東徳島医療センター附属看護学校
	看	・松 村 康 代	徳 島 県 看 護 協 会
	保	・緒 方 静 子	徳 島 県 看 護 協 会
	看	・岸 由 希 枝	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看	・服 部 裕 子	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・祖 父 江 定 子	麻 植 協 同 病 院
災害看護支援検討委員会	看	・松 下 恭 子	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
	看	・原 良 江	徳 島 市 民 病 院
	保	・梅 田 弥 生	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	・井 澤 千 恵	阿 南 共 栄 病 院
	看	・溝 淵 理 恵 子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	保	・緒 方 静 子	徳 島 県 看 護 協 会
	保	・浦 西 由 美	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	・緒 方 静 子	徳 島 県 看 護 協 会
	看	・吉 永 純 子	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
	看	・日 野 出 裕 美	徳 島 県 鳴 門 病 院
看護制度委員会	看	・森 恭 子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	・埴 淵 明 美	阿 南 医 師 会 中 央 病 院
	准	・吉 本 さ よ 子	稲 次 整 形 外 科 病 院
	看	・渡 川 明 子	徳 島 県 看 護 協 会
	看	・寿 見 千 代 美	独) 国立病院機構東徳島病院
	看	・藤 本 藤 枝	徳 島 県 立 中 央 病 院
	看	・大 下 千 鶴	川 島 病 院
	看	・川 原 明 美	阿 波 病 院
	看	・庄 野 ま ゆ み	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・石 山 由 紀 子	徳 島 大 学 病 院
医療看護安全対策委員会	看	・久 次 米 清 子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	・住 吉 貴 美	徳 島 県 看 護 協 会
	保	・梅 田 弥 生	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	・荒 尾 公 美 子	徳 島 県 立 総 合 看 護 学 校
	看	・矢 部 公 子	阿 波 病 院
	看	・大 下 千 鶴	川 島 病 院
	看	・埴 淵 明 美	阿 南 医 師 会 中 央 病 院
	看	・松 浦 智 恵 美	徳 島 健 生 病 院
	保	・原 美 智 代	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
	助	・古 川 明 美	徳 島 文 理 大 学 保 健 福 祉 学 部
ナース連盟「ロケットナース」委員会	看	・館 美 加	阿 南 共 栄 病 院
	看	・亀 井 名 美 子	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	・住 吉 貴 美	徳 島 県 看 護 協 会
	看	・入 江 賀 誉 子	板野郡医師会訪問看護ステーション
	看	・新 田 か お る	き た し ま 田 岡 病 院
	准	・山 口 浩 志	ど り ー ま あ さ ー ビ ス
	保	・佐 藤 ふ さ よ	医 療 法 人 患 愛 会
	看	・渡 川 明 子	徳 島 県 看 護 協 会
	保	・緒 方 静 子	徳 島 県 看 護 協 会
	保	・梅 田 弥 生	徳島県保健福祉部医療政策課
訪問看護推進「プロジェクトチーム」委員会	看	・栗 本 敬 子	阿 南 共 栄 病 院
	看	・浅 田 洋 子	徳 島 市 民 病 院
	看	・松 崎 和 代	徳 島 赤 十 字 病 院
	看	・日 野 出 裕 美	徳 島 県 鳴 門 病 院
	看	・三 木 満 理 子	阿 南 医 師 会 中 央 病 院
	看	・長 尾 春 美	つ る ぎ 町 立 半 田 病 院
	看	・矢 部 公 子	阿 波 病 院
	看	・井 口 和 美	徳 島 県 立 三 好 病 院
	看	・緒 方 江 里 子	徳 島 県 立 海 部 病 院
	看	・緒 方 江 里 子	徳 島 県 立 海 部 病 院

・印の方は平成26、27年度任期

平成26年度



日本看護協会

通常総会

第1日 平成26年
6月10日(火) 13:30～17:30

第2日 平成26年
6月11日(水) 9:30～15:30

平成26年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

保 中瀬 明代 徳島県東部保健福祉局(吉野川保健所) 助 岡島 真理子 徳島県立中央病院 看 森 恭子 徳島赤十字ひのみね総合療育センター 看 石田 ゆうき たまき青空病院 准 吉川 満枝 阿南医師会中央病院	
--	---

日本看護協会通常総会に参加して

徳島赤十字ひのみね総合療育センター 森 恭子

平成26年度通常総会では、議決事項の2議案と報告事項の4事項が協議され、すべて承認された。医療が病院中心から地域・在宅へパラダイムシフトする中、どこにおいても人々の暮らしと医療を支える視点が求められると坂本すが会長の挨拶があった。

報告 平成26年度 全国職能交流集会

保健師職能集会

統括保健師の配置推進と 系統的現任教育の構築

保健師職能委員長
中瀬 明代

平成26年度全国保健師交流集会が保健師350名参加のもと開催され、平成25年度報告及び26年度重点政策・重点事業、活動方針説明、特別講演が行われました。

医療・介護・福祉など様々な場面で組織横断的に活動する保健師の能力が今まで以上に求められ、保健師への期待が高まっています。そこで、25年度の活動方針として①統括保健師の配置の推進(統括保健師をテーマとしたシンポジウムの開催と保健師活用ガイドの普及・活用推進)②保健師の系統的現任教育体制の構築(系統的現任教育の構築に関する提言)③「保健師の活動基盤調査」の実施及び政策提言、④地域包括ケア体制の構築・推進に向けた研修プログラムの提案の4事業が示されました。

また、特別講演(「健康格差に向き合う—期待される公衆衛生看護の力」)として、千葉大学予防医学センター 環境健康学研究部門 教授 近藤 克則氏より、健康格差の実態をとらえ、社会環境をふまえて、公衆衛生看護の視点で、地域診断をしっかりと見える化する、そしてエビデンスに基づく健康なまちづくりをすることの重要性についての講演がありました。

県保健師職能委員会としても、これらを参考に活動を進めたいと考えています。

助産師職能集会

さらなる助産実践能力強化と その体制整備

助産師職能委員長
岡島 真理子

全国助産師交流集会が6月12日名古屋マリOTTアソシアホテルで開催され、約250名の助産師が全国より集結しました。助産師職能委員会の平成26年度重点政策・重点事業は「助産実践能力強化とその体制整備」を核とした、

1. 助産師の就業先偏在の是正への提案
2. 助産師の助産実践能力強化のさらなる支援
3. 院内助産システムのさらなる推進
4. 助産関連政策の検討・提言
5. 助産実践能力強化とその体制整備に関する全国展開の推進です。

なかでも助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)活用ガイドの普及と評価制度に向けた検討準備を進めること、助産師の就業先偏在の是正をめざした助産師出向支援モデル事業の本格推進、院内助産システムのさらなる推進や産科混合病棟のユニットマネジメントの推進を強化することが重点課題となります。徳島県助産師職能委員会でも安全で安心な出産環境体制整備に向けて、さらに助産実践能力強化と課題解決に取り組んでいきたいと考えますのでご協力よろしくお願い致します。

看護師職能集会

病院で働く看護職が、患者の 在宅療養を支援する

看護師職能委員長
森 恭子

平成26年度全国看護師交流集会I病院領域が、6月12日に日本ガイシホールで開催されました。

国の医療政策は、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」へと転換され、病院で働く看護職には、今まで以上に地域における病院の役割を認識し、患者が地域で療養できるよう支援する役割が求められています。

平成26年度の活動内容としては、1. 病院領域における在宅療養支援の取り組みとその意義についての情報提供・課題発見・意見集約、2. 変化する医療提供体制に応じた看護師の多様なキャリアについての情報収集、3. 病院における看護職に関連した本会事業のトピックに対するタイムリーな課題発見・意見集約の3点を挙げています。特別講演では、産業医科大学医学部公衆衛生学教室教授松田晋哉氏より「医療提供体制の構築～地域包括ケアを支える看護の役割」と題し、高齢化の進行は地域そのものを「病棟化」することを要求し、そこで質の高い療養生活、具体的には看護診断・看護計画に基づくサービスを必要としています。病院で行われている看護の地域への展開が求められていると話されました。徳島県看護師職能委員会も日本看護協会の方針に従って積極的に活動していきたいと考えています。



存在感をっ!



徳島県立海部病院
近藤 孝

看護師になって今まで、様々な専門科で患者さん
と関わりを持たせてもらいましたが、何処に行っ
ても女性看護師には圧倒されます。患者さんとの
関わりにおいてふれ合う優しさ、時には患者さん
への指導や注意を行う上での厳しさや気遣える
思いなどを間近で何度も感じさせられます。徐々
に男性看護師は増えつつありますが、患者さんの
男性看護師に対する認知度は低いように思いま
す。今後も様々な患者さんに関わり、徐々に存在
感を感じられるように携わり看護が提供できれば
と思います。

~負けずに!熱く!~



東徳島医療センター
矢野 祐樹

看護学校を卒業し看護師として7年が経過しま
した。重症心身障害児(者)病棟に4年間勤務し、
現在内科病棟で勤務しています。私は教育委員
として院内研修の運営、病棟で必要な研修を計
画し勉強会を開催する等、看護の質の向上に向
け取り組みを行っています。自分の役割を認
識し、達成していく中で看護師としてのやりが
いを感じることもできています。男性看護師も
いが増え、ロードバイクやフットサル等の共通の趣
味を持ち、喜びや悩みを共有できる仲間もでき
ました。看護師として未熟な部分もありますが、
今後も自己研鑽に励み、リーダーシップを発揮
しながら看護師として働いていきたいと思っ
ています。



看護の職場でも男性
徳島県看護協会の会
197名とな
まだまだ女性が
今回は頼れる仲間!!

一つながりを大切にー



阿南共栄病院
伊勢 美史

精神科病院、一般病院、介護老人保健施設、
認知症対応型グループホームと転職し、現在
は阿南共栄病院回復期リハビリテーション病
棟で勤務しています。高齢の患者さんが増え
る中、認知症・社会的背景などの様々な課題
がありますが、転入時に車椅子であった患者
さんが退院の際に杖で帰られる姿などをみ
ると、この仕事をして良かったと感じます。
患者さんのQOLの向上に向けて、他職種と
の連携や地域との連携など、つながりを大切
にしていきたいと思っています。

信頼される手術室 看護師を目指す

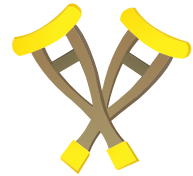


JA徳島厚生連 麻植協同病院
後藤 利彦 前坂 圭祐

一人前の看護師を目指して

田岡病院
郡 智志

私はこの4月から田岡病院に就職させていただき、特殊疾患病棟に配属となりました。毎日、新しいことや解らないことばかりで大変だと思うことも多々ありますが、先輩看護師の方々の優しく丁寧な指導の下、日々の学びを大切にしながら看護に励んでいます。まだまだ知識や技術が未熟なため、今後も日々学習し経験を積み重ね、患者さんの個々のニーズに合った安心感を与えられる看護を提供できるように努力していきたいと思っています。



目配り・気配り・心配り

◀(左から)
三谷 亮太 くん
石川 龍一 くん
田中 真幸 くん徳島県鳴門病院
石川 龍一

今年で就職して9年目のナースマンです。当院には7人の男性看護師がおり、そのうち整形外科に僕ら仲良し3人組が勤務しています。日々の煩雑な業務の中で、医師やコメディカルと協力し合い、笑顔で退院していく患者さんを見送る時に看護の楽しさを実感します。これからも、痛みや不安を抱えている患者さんによりよい看護を行い、男性看護師らしくムードメーカー的存在になれるよう3人揃って頑張っていきます！

男だからできる
看護を目指して！
日々精進あるのみ！徳島県立中央病院
近藤 恵太

今年で看護師になって12年目になりました。新規入職部署はまさかの精神科病棟の閉鎖病棟で6年の勤務、その後再度まさかまさかの集中治療部での勤務で、現在はICU勤務早6年になりました。精神科では閉鎖病棟であり精神状態が急性期の患者さんとの関わりの中で、コミュニケーションの大切さを学びました。精神科では、こちらが親身になって傾聴し、適切なアドバイス等をする事で信頼関係を築く事ができるという事が習得できました。その後の集中治療部では救急患者さんのクリティカルケアはもとより、高度侵襲の患者さん及び家族に対する精神的ケアの大切さも痛感しました。現在、中堅クラス手前として、後輩のプリセプター等の教育面でも自己啓発も含めた日進月歩の看護技術の習得に日々精進しています。



の割合が増えています。
員4,350名中男性は
っています。
多い現場の中で
ナースマンを紹介します。

現在、手術室で勤務をしています。毎日忙しく技術や知識はもちろんのこと、体力や精神力の強さも求められる職場ですが、優しく頼もしい同僚に支えられ仕事をしています。それぞれの診療科で使用する器具も異なり、覚えることも多く大変ですがそれ以上に大きなやりがいを感じることができる職場です。これからも安全かつスムーズな手術が行えるよう努力していこうと思います。

報告

2014年看護の日・看護週間行事

看護の日・看護週間

徳島県とつるぎ町立半田病院の協力を得て、今年度初めて西部圏域で中央行事を開催しました。講演会には91名、訪問看護ステーション半田のイベントには31名の参加がありました。



すだくんも
看護の日・看護週間を
PRしてくれました。



つるぎ町立半田病院の大会議室で実施した記念講演会は、地域の方々から、「わかりやすい言葉で話してくれて、今後の参考になった」「病気になっても病人にならない、楽しく生活していきたい」「これからの人生が楽しく、安心して過ごせるように感じた」などの感想があり、在宅で楽しく過ごせるための元気をリレーできたと感じました。

イベント開催



もしもの時の豆知識
(市民病院)



お茶席
(徳島赤十字ひのみね総合療育センター)



5月12日は
看護の日



キッズセミナー
(徳島大学病院)



健康相談
(稲次整形外科)

第4回 忘れられない看護エピソード [看護職部門 入選]

耳元で感じたやすらぎ 徳島県 古泉 サト子

男性の息が和らぐのが分かった。私の肩にもたれて眠っている70歳の男性は、がんを患い大学病院で治療を受けていたが、車を運転すると疲れるようになり、地元の総合病院に通院するようになった。がんはすでに肺や骨に転移していた。胸水によって呼吸がしづらくなったため入院し、2、3日おきに胸水を抜くようになった。700ミリリットルくらい抜くと楽になり、その夜はよく眠れていた。

胸水は抜いてもすぐにたまり、楽に過ごせる時間が短くなってきた。管を入れ続けて、抜くようになってからも、息苦しさや倦怠（けんたい）感が強かった。使い始めたモルヒネが速く効いてくれますようにと祈った。

男性は横向きになったりオーバーテーブルにもたれたりして、楽な姿勢を見つけようとしていた。家族は脇腹から出ている太い管や血性の胸水を見て、近寄れずにいた。私は男性の左隣に座った。男性の上体を引き寄せてみたものの、正直なところ楽にさせてあげられる自信はなかった。ところが引き寄せるや

いなや、私の肩に男性がもたれてくれた。「いかり肩で、しかも肉付きが薄くてすみません」と心で謝った。やがて男性は眠り始めた。前に傾くと私も前のめりになり、左右に揺れるとそれに合わせて動いたため体勢が崩れることはなかった。私は33年前のある光景を思い出しながら、男性の息遣いに気を配っていた。

私の父は胃がんで亡くなった。私が高校生の時で、家から一番近い病院に入院していたが、なかなか面会に行けなかった。たまに行っても少し離れたところに座っていた。鎮痛剤を頻回に注射するようになってきたある日、病室のドアを開けると、父が11歳年上の私の姉に寄りかかって、座ったまま眠っていた。

患者さんが苦しい時、あの日の姉のように患者さんに直接寄り添いたいと思っていた。ずっとできずにいたが、看護師になって25年目にして初めて行えた。

「誰か看護師さんと代わろうよ」。

息子さんの言葉が静かに耳に入ってきた。



ナースセンターへの届け出制度 2015年10月スタート

Q 届け出制度とは？

看護師等の人材確保の促進に関する法律（人確法）が改正され、「看護職の方は離職時などに氏名や住所などを都道府県ナースセンターに届け出るよう努めなければならない」という制度です。この新制度では就業、未就業に関係なく、離職時などの届出が努力義務となります。

※厚生労働省令は今後発令予定

Q なぜ届け出るの？

離職した方が看護職として活動、活躍のチャンスを得る為です。

Q 届け出ることのメリットは？

これまでは看護の仕事から離れると、必要な情報を受け取る方法がなくなり、もう一度看護師として復職したいと思っても、必要な情報が得られませんでした。今回の届出制度を活用することで、離職後もナースセンターからの情報提供などによって、復職に向けたきめ細かなサービスが受けやすくなります。

Q ナースセンターとは？

ナースセンターは県知事の指定を受け看護職の無料職業紹介事業、再就職支援事業、及び訪問看護支援事業に取り組み、施設と看護職の橋渡しを行っています。

..... 利用のご案内

相談日 月曜日～金曜日（祝祭日は除く）

受付時間 9:00～12:00
13:00～16:30（来所の場合は16:00）

公益社団法人 徳島県看護協会
徳島県ナースセンター

〒770-0003 徳島市北田宮1丁目329-18
TEL (088) 631-5544・FAX (088) 632-1084
E-Mail tokushima@nurse-center.net

酸素ポンベを正しく使用しましょう



- 使用場所では火気厳禁、通風や換気に注意して下さい。
- 酸素ポンベは温度40℃以下に保って下さい。
- 速乾性手指消毒剤（アルコール）を使用した時は完全に乾燥してから使用してください。
- ハンドクリーム（油脂類）を使用直後に酸素ポンベや圧力調整器に触らないで下さい。
- 封印シール、防塵キャップを外したら空吹かしして接続部のゴミや塵を飛ばして下さい。
- 圧力計の正面に顔を近づけないようにして下さい。

（加圧速度が速いほど温度上昇が大きいので、加圧速度が速いとポンベの圧力調整器からの発火の恐れがあるので十分注意する）

H26年度

ワークライフバランス (WLB) 推進ワークショップ事業

今年度、医療法の改正により、各医療機関の勤務環境改善の取り組みが努力義務化されます。この事業の役割の重要性を感じます。WLBを視野に入れた看護師の離職防止・定着等を支援し、「雇用の質」の向上をめざします。

参加動機

田岡東病院：

当院の看護職員の平均年齢は47歳となっています。このことは看護経験また人生経験の豊富な人材が多いとも言えます。一方、昨年には病院機能評価を受審し、現在は病院の質向上に向けての取り組みを進めている処ですが、これから新人を受け入れ育てるために、職場を活性化していくことが課題です。「活気があり、満足感や意欲的に働く気持ちがあるような職場環境」を構築していきたいと考えています。

つるぎ町半田病院：

自施設の現状をしっかりと受け止め、評価を行って、取り組むべき課題を明らかにしたいと思い、WLB推進ワークショップに参加させていただきました。そしてその課題に対し、できることから始め、職員一人一人が生き生きとやりがいをもって働ける職場、働き続けられる職場の実現に向けて、組織として取り組んでいきたいと思っています。それが看護師の確保・定着と看護の質の向上につながることを期待しています。

第45回 日本看護学会－慢性期看護－学術集会

メインテーマ 今こそ、看護のチカラ ～人が人生をよりよく生きるために～

9月11日(木) 第1日目

基調講演 共にあり、共に変わる

～慢性期看護の新たな展開に向けて～

河口てる子 (日本赤十字北海道看護大学学長)
座長／森山 節子 (徳島県看護協会会長)

シンポジウム 慢性疾患をもって生きる人を
支えるということ

吉田 大介 (徳島往診クリニック院長)
樋口千恵子 (NPO法人たんがく理事長)
多田 敏子 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部地域看護学分野教授)
石本 寛子 (徳島県保健福祉部副部長)
座長／齋藤 訓子 (日本看護協会常任理事)

交流集会Ⅰ 難病患者・家族を支える看護

高橋 奈美 (名古屋第二赤十字病院慢性疾患看護専門看護師)
川北 明代 (高松医療センター看護師長)
司会／児玉真由美 (徳島病院看護部長)

論文作成支援講座 論文作成のポイントと
倫理的配慮／文献検索の基礎知識

主催：公益社団法人日本看護協会 公益社団法人徳島県看護協会
お問い合わせ先：公益社団法人徳島県看護協会 (TEL.088-631-5544)

平成26年

開催日 9月11日 木・12日 金

9月12日(金) 第2日目

特別講演 新たな「絆」の創造に向けて

～患者の生活を支えるICT利活用の現状と展望～

森川 富昭 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科准教授)
座長／大岡 裕子 (徳島文理大学保健福祉学部看護学科学科長・教授)

教育講演 連携・協働～総合医の育成を通して見てきたこと～

谷 憲治 (徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部総合診療医学分野教授)
座長／木田 菊恵 (徳島大学病院副院長・看護部長)

交流集会Ⅱ がん患者・家族を支える看護～意思決定の支援～

遠藤 久美 (静岡県立静岡がんセンターがん看護専門看護師)
鈴木 察子 (徳島大学病院看護部長補佐)
司会／郡 利江 (徳島県立中央病院看護部長)

交流集会Ⅲ 糖尿病患者・家族を支える看護
～自己管理の支援～

山下 亜希 (大津市民病院糖尿病看護認定看護師)
平田 久美 (徳島赤十字病院糖尿病看護認定看護師)
司会／藤原 里美 (徳島県東部保健福祉局徳島保健所庁舎健康増進課長)

交流集会Ⅳ 特定行為に係る看護師の研修制度創設に
向けてのプロトコル試行事業報告から
～挑戦! 拡がる慢性期看護の実践～

司会／洪 愛子 (日本看護協会常任理事)

会場 アスティとくしま(徳島県・徳島市)

お知らせ

編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたり、ご多用にもかかわらずご協力いただいた皆様、ありがとうございました。今号も協会の様々な活動や現状、ナースマンの方々のご活躍を紹介しています。一人でも多くの方に読んでいただきたいと願っています。

(広報出版委員一同)

平成26年度

訪問看護管理セミナーのご案内

高齢化の進展により在宅療養を望む県民のニーズが高まっており、訪問看護には、地域において医療や介護・生活支援など一体的に提供する在宅療養サービスの中心的役割を果たすことが求められています。そこで、人材確保や安定的な経営に係る訪問看護管理セミナーと相談会を次の要領で行います。

受講対象者：訪問看護ステーションの管理者（保健師または看護師）

これから訪問看護ステーションの立ち上げを考えている看護職

申込方法：訪問看護提供体制拡充事業担当 瀬尾までご連絡ください。☎ 088-631-5544

訪問看護管理セミナー＆相談会の開催のご案内

第1回訪問看護管理セミナー 9/13(土)

13:30-15:00 魅力ある訪問看護ステーションとは
一般社団法人在宅ケアセンターひなたぼっこ 代表理事 安藤真知子 氏
15:15-16:00 相談会

第2回訪問看護管理セミナー 11/9(日)

13:30-15:00 訪問看護における人材確保
徳島健康生活協同組合 組合看護部長 松浦 智恵美 氏
15:15-16:00 相談会

第3回訪問看護管理セミナー 12/6(土)

13:30-15:00 これからの訪問看護の経営戦略
藤井会計事務所 医療経営コンサルタント 藤井 幹雄 氏
15:15-16:00 相談会